

**旧東海道松並木・舞坂宿と弁天島を訪ねる旅**

舞坂宿は、日本橋から67里(264.9km)品川宿から数え30番目の宿である。当時、東海道は舞坂で一度切れ、新居宿まで海上1里半を船で渡った。浜名湖は、かつて遠淡海(遠江)とうたわれる淡水湖であったが、明応7年(1498)の大地震や洪水で切れて入海となった。その切れ口を「今切」と呼ばれている。舞坂宿は宿場としては小規模だったが、浜名湖今切の東側に位置していた為交通上重要な宿場であった。今回はその舞坂宿を散策し往時に思いを馳せます。

**【日 程】:**[往]H28年12月10日(土)大船7:26発~[復]大船21:02帰着

**【集 合】:**7時15分 大船駅南口改札口,ルミネ前

**【略費用】:**青春18切符¥2,370,入浴料¥800,総費用¥3,170-

**【ご注意】:**散策が出来る服装,靴をご用意下さい。入浴用タオルを準備下さい。

改札時は青春18切符持参者(グループリーダー)と一緒に通過し,乗車列車は(往)先頭/(復)最後尾(小田原側)車両に乗車下さい。また乗り遅れ予防の為グループから離れる時はリーダーに連絡の上,行動願います。

**【連絡先】:**団長:桑原啓二 ☎090-9329-0937

**【申込み】:**平成28年11月15日(木)